

第6回倉敷市総合計画審議会 第5分科会議事録（要旨）

会 議 名 称		第6回 倉敷市総合計画審議会 第5分科会（SDGs・市民協働・コミュニティ・行財政）
開 催 日 時		令和2年8月28日(金) 10:00～11:35
開 催 場 所		倉敷市役所 議会棟3階第2会議室
出席者 ※敬称略	審議会 委 員	井上 峰一, 岡崎 真宏, 斎藤 武次郎, 武則 啓子, 新垣 敦子, 平井 俊光, 三村 聡
	市職員	企画経営室長, 総合計画策定研究班員, 事務局
関係者	関係者	委託事業者
傍聴者	傍聴者	1名
会 議 次 第		1 開会 2 今後のスケジュールについて 3 総合計画について 4 その他 5 閉会

1. 開会

2. 今後のスケジュールについて
(事務局説明)

委員	今回の分科会で基本構想と基本計画部分の審議は最後で、総合戦略は別にあるのか。
市	総合戦略は総合計画の中から指標をピックアップする形になる。

3. 総合計画について
(事務局説明)

審議

分科会長	では、第5分科会の部分のまとめと、全体を見てのご意見をお伺いしたい。
委員	110-111頁の5-3、まちづくり指標の受益者負担比率をなぜ削除するのか。
市(担当課)	当初は、行財政改革を行った結果、受益者負担比率が増えるイメージを持って経費削減(財政健全化)の指標になるのではとこの指標を選んだが、総務省が公表する新しい指標であるため、念のため具体的にシミュレーションを行った。結果、PFIや指定管理者制度など民間の活力を利用した取組を行うほど、逆に指標の数値が下がってしまうということがわかり、行財政改革の成果を正しく反映することができないため、削除という判断になった。
分科会長	指標は市民全体にご理解いただかないといけないものであり、基本目標や基本方針に掲げるものがうまくいっているかを測るものである。例えば、市民モニター制度の登録者数といったグラフ、基本方針にあるパブリックコメントのコメント数、パブコメにかけられた件数のような指標のほうが、良い方向に向かう行動をするはずである。行政がやっていることに、市民が関心を持ってきている指標のほうがわかりやすいという意見の委員もいたように思う。他の委員はどうか。
委員	受益者負担比率は誤解を招くということには賛意を示すので、削除すればよい。ただ、行革を進めることや民間にゆだねることは必要であるので、指標自体がなくなってしまうことには違和感を持つ。コストは単純に下げればよいというのではなく、費用が10%上がっても、満足度が30%上がるならば、市民としてはよいという話になる。 補助金は一度作るとやめづらいため、5年ぐらいで必要かどうか再検討が必要である。
分科会長	固定費で大きなウェイトを占めるのが人件費。民間活力を利用しながらコストを下げつつ満足度も上げていくという費用対効果についてはどうなのか。また、補助金の見直しについては、倉敷市においても何年かに一回は、どれぐらいの活用と効果があったのか、市民にもわかるようにチェックをして、議会にも確認をいただきながら、全体として最

	<p>適化を目指していく。その中で、どこまで財政の健全化を維持できるのか。単純にコストを削減するだけではだめだというのが今の指摘だった。</p> <p>誤解を招く指標なので外そうということについては、皆さんよろしいようなので、何か他の指標を検討していただくということでご理解いただければ。その他の意見は。</p>
委員	<p>お金に関連する成果目標がほしいところ。ベンチマークのような。定量的に数字でとらえる仕組みを導入するとか。コストがかかりそうだが。全体としてはこれ以上のスリム化は難しい。例えば 116-117 頁の 5-6。先端技術は市民の指標かもしれないが、行政活動の生産性にも関わる話。行政の各々の業務にどれだけコストがかかっているか、まず把握をしないとバランスの良し悪しもわからない。</p>
分科会長	<p>政策の定義は総合計画で大体示せるが、その後ろ側にある K P I をどれだけわかりやすく見ていくのか。総合戦略は K P I がかなり具体的で、人口減少に対して、社人研の出した数字に対して倉敷市はここまで頑張るとしているが、財政との関係をいきなり数字で見られるかというのは、そこはなかなか難しい。</p>
委員	<p>資産をどれだけ評価したのか、無駄なことはないか。将来に向けての投資という活動もあるわけで、貸借対照表にあたるような資産管理はどのようにしているのか。</p>
市（担当課）	<p>固定資産台帳を作っていて、それぞれの施設について管理し、貸借対照表にしている。</p>
分科会長	<p>112 頁の今後の課題の中で、単独立替、長寿命化、複合化、集約化とうまく表現されている。指標にあるように、利用者数の延べ人数を見ていき、将来的には中長期的にこのエリアはどうなるかの推計をして、市民向けのサービスを落とさずに財政のことも勘案して落としどころを作る。総合計画は全体の大きな流れなので、大体の文言の落としどころを決めたら、あとは各部局の個別計画に落ちていく話。あとは他の自治体と違って、倉敷市はどこを重点にするのかとか、地域別の施策もあると思う。そこは行政におまかせして、指標は市民に分かりやすく示していくというのでどうか。</p>
委員	<p>110-111 頁の 5-3 の基本目標で、「行政が市民の意見を踏まえ、評価検証を行い」とあるとか、P D C A サイクルが回っているとか、意見を踏まえているということの何かしら指標は加えていただきたい。</p>
分科会長	<p>時系列でみると市民のパブコメの件数が上がってきているとか、データを取っているのか。</p>
市	<p>担当課に確認すればわかるかもしれないが、現時点ではわからない。</p>
分科会長	<p>広聴広報の話で、市は毎月の広報やパブコメで発信し、マスコミも頑張っている。しかし、市民にどこまで届いているのかが課題。全国的な問題でもあるため、それをどう落とし込むのか。</p>
委員	<p>そういった意味で言えば、行政の見える化は大きなテーマである。今後の課題にオープンデータの整備とあるが、これは一つの見える化指</p>

	<p>標であり、基本方針にある「官民のデータ利活用により得られる客観的な証拠に基づいた政策や施策の企画立案を推進」というのであれば、指標に盛り込むことで対策が取られているとわかる。基本方針から指標へと落とし込むときに、全体感が見えてくるような指標としてほしい。</p>
分科会長	<p>国が出しているRESASは、客観的なデータが自治体ごとに落ちている。行政の見える化というのは、倉敷市の状況がどうなっているのかを見えるようにするというので、こういったツールをうまく見せていく、活用すると表現していくことかと思う。他の意見があれば。</p>
委員	<p>人件費については、倉敷市は削減しつつしていて、災害やコロナといった対応をするには、実際厳しいものがある。これ以上、人件費を下げられない状況の中でも、市民の皆様にも満足してもらうことが大切で、財政と市民満足度の矛盾するところでもある。この総合計画にしても、できた後に、どれだけの市民の皆様にも見てもらえるかは非常に難しいこと。指標は必要であるが、パブコメの推移を載せたところで、直接の指標になるものではないと思う。</p>
委員	<p>民間では生産性向上のために設備投資や研修など、改善のための努力をどれだけやっているかという指標がある。改善に向けての投資及び効果というものが指標の候補としてあがってくると思う。</p>
分科会長	<p>自治体なので民間とは単純に比べられないが、倉敷市は設備投資に関してはかなり幅広くやっている。人材育成に関しても、職員研修を自前でやれる実力がある自治体である。小さい自治体ではできない。指標としては、相当レベルが高いと思う。もう少し他にも聞きたい。</p>
委員	<p>私は、ほぼ一般市民のようなもので、専門的なことはわからない。ここで勉強して帰って、地域で説明しても、なかなか理解は得られない。そうなんだ…で終わる。市民にわかりやすく伝えるということが必要である。</p>
分科会長	<p>確かに、SDGsの理解だけでも大変である。公聴広報の工夫が必要である。他の意見は。</p>
委員	<p>市の職員の必要数は、災害が起こった時と平常時は違う。市の職員は大変優秀だと思っているが、いかに市民のニーズ、感覚をうまくとらえる職員に育てるかが重要で、それが非災害時に生きることになる。ホームページも、どうやったら市民にも見てもらえるかという市民感覚が求められる。公共施設を作る際にも市民ニーズを反映して、同じ人が繰り返し使う施設ではなく、多くの人々が利用する施設を作るべきで、市民ニーズを反映して税金を使うことについて考えなくてはならない。</p>
分科会長	<p>ここでの議論はどの自治体にも言える課題であり、議論するにはかなりハードルが高い。今回の総合計画は、本格的な人口減少社会の中で初の計画となる。市民の参加と理解、自分たちのまちを守っていくという手本になる上位計画になってほしい。シビックプライドを持ってもらえる基本計画となるよう、普及啓発の議論が必要である。</p>
委員	<p>総合計画は上位計画なので、民間の費用対効果のように細かくしなくてよい。市民にわかりやすい、見やすいことが優先される。市民モニ</p>

	<p>ターはしっかりやっているんで、若い人の巻き込み、回収率の向上に向けた行動をとればよい。この計画で市が動いているということ、いかにアナウンスするかが大切。SDGsモデル事業は中期的にやっていくので、計画の目標と合わせていってもよい。</p>
委員	<p>倉敷市は地区によって異なる。それぞれの声が反映されるべき。人件費については、適正な人数・配置になっているのか。例えば選挙で、あれだけの人数が必要なのだろうか。</p>
分科会長	<p>いろいろお話を伺ったが、一点だけ。18歳にも選挙権が認められた。人口減少を食い止めるには若い層に残ってもらわなければならない。SDGsも含めて倉敷市の10年後のビジョンを理解してもらえらる機会をつくらなければならない。あと、基本目標5には外国人の対応に関する内容が5-5に一行あるだけなので、もう少し必要かと思う。</p>
市	<p>外国人対応はいろいろな所で触れている。1-1多文化共生、2-4不当な差別の防止などの視点を入れている。それから、わかりやすい総合計画をという議論があるが、冊子を簡単にした概要版について広報紙などを通じて発信することを考えている。中学生向けのものも別に作ろうとしている。</p>
分科会長	<p>では、時間もきているので、第5分科会としては以上でよろしいか。</p>
委員	<p>全体のことで少し。SDGsのアイコンには、全体を見ても1個や2個しか使用されていないものがある。7の環境についてと5のジェンダー平等がそれにあたり、市の弱いところと比例している。第5分科会で言うと27頁に記載されているが、3の健康と福祉や、5のジェンダー平等、8の働きがいや経済成長も該当しそうだ。事務局にはSDGsに取り組む姿勢を盛り込んでほしい。</p>
分科会長	<p>事務局には改めて17のゴールの盛り込みをお願いしたい。最後に言い残したことはないか。</p>
委員	<p>職員のやりがいとか働き方改革は入れてほしい。</p>
分科会長	<p>他の分科会を含めて事務局で調整をしていただきたい。ほかにご意見はないか。ないようなら、第5分科会としては基本構想・基本計画の審議はこれで終了とする。本日の意見はまとめて計画案に反映し、後日報告してもらいたい。</p>

4. その他

次回の日程について

5. 閉会